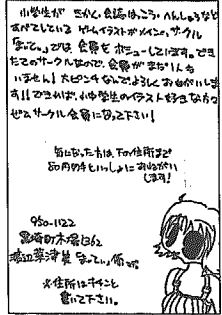


# ひなまつり

## イラスト



## 随筆

Next 21世紀に向けて

大橋京子

Next 21世紀を控えた混沌とした、あと一年を残す世紀末の本年、半世紀を生きてきて、最近とみに思う事は、私を含めて、自分だけ、自分の家族だけ、ときには自分にまつわるものだけ良ければそれで良いとする、一人一人のほんの微少なエゴイズムな考え方や、もしくは行動が、いばいばいば、幾重にも幾重にも十二単衣のように、又雪だるまのように、ふくらんで、自らの犯した罪となり、今世紀最後の年を迎えようと思つたのである。公衆道徳の愚かさもあることながら、公害にせよ、自然破壊にせよ、戦

争にせよ、万物の霊長である我々悪かな人間が、欲望の為に、正しい目を見失ってしまった結果である。佐渡に一羽しか生き残らない朱鷺でさえ、前は日本国中に、生息していたと言ふ事実がある。佐渡の住民などは、ハントして食用にしていたと言ふ話もある。又戦後、生きる為の工業が、急速に発達して、いくに連れ、公害問題も次ぎから次ぎへと出るし、森林の伐採が土砂崩れの原因となったり、その為、自然の住かなくなった、鳥類や動物達の今迄の実態、そして朱鷺のように、又他の鳥類や動物のように、不心得なハンターの犠牲となった、生物達の実態、これも我々人間が犯した罪である。又あの湾岸戦争を思い返しても、フセイン大統領は、一票一票投じてくれた、大切な国民を脅かすあの戦争を起したのだから。先進国のアメリカに、勝つ筈がないのである。無駄な抵抗という訳けである。神がイラクに勝利をもたらすなど洗脳し、青年をかりたて、老人や子供達を犠牲にし、戦火にみまわれ不幸にしたのである。フセインのファシズムと言つても、過言ではないと思ふのである。国が可愛いの？ 大統領である自分が可愛いのである。話は変わるが、自分だけよければそれでよいと言つて考え、悪いのである。私を含めてもよつと、他人の事も考える余裕がなければいけないのである。これが後の苦の種につながるのである。

人という字は、二本の棒が支えあつて、できているのである。ある時は夫婦かも知れない、ある時は他人かも知れない、人は誰でも一人では生きられないのである。誰でも一人ひとり、弱い者であり、罪人である、だから弱者同志、罪人同志、支えあつて生きて行かなければならないのである。自分が、幸せになりたければ、人の幸せを祈る事から始まるのである。人の幸せを祈る事、これは素晴らしい事である。人間は本来、善であるから、他人に良い事をする、自分の良心が喜ぶのである。反対に、人に悪い事をする、良心ががためて、罪の意識に陥り、気が晴れないのである。損得の問題ではないが、前者の方が、得をするのである。心が晴れ晴れとして、自分の本心が嬉し、からである。これも前向きな考え方の一つである。考え方一つで、人生大きく生き方が変わるのだから。四六時中、人に良い事ばかりして、いられないが、できたら人に、なるべく悪い事をして、いられないように、他人の長所を見つけたら、すかさず誉める事も必要である。一人ひとり、弱く罪人であるから、知らず知らず犯す罪を含めて、罪を犯さない人はいないのである。そうした事から、ストレスを生み、悩み苦しむ時もあると思ふのである。雨の日も雪の日も、風の日もあると云う訳けである。

世紀末に限らず、人間誰でも、喜怒哀楽がある。それは浮き世の習わしである。物資の豊かきで、置き去りにされている、精神面の弱さを見直し、喜び事や楽しみ事が、自分だけでなく、人々にいばいばいばいばいばいばい、心新たに、新世紀に向い、祈願したい、と思ふ者である。

## 越後警女・小林ハルさん百寿を祝つて

安藤俊子のひとり語り「最後の警女・小林ハル」

小林ハルさんは今年一月二十一日で、満百歳になられますが今も元気で胎内やすらぎの家で暮らしておられます。この最後の警女、小林ハルさんの警女唄と、盲目という障害を乗り越えて歩いてこられた生きざまを、後世に伝え、残して行きたいと、いろいろな計画が進められています。その一つとして名古屋にお住まいの安藤俊子さんが、ご自身も目が不自由の身でありながらも、自作自演の「ひとり語り」として、ハルさんの生い立ちから厳しい警女の暮らしの総てを、一つ物語りにまとめ、ご自分で演じて居られます。かつて、この木場集落にも、昭和三十年代の終わりごろまでは、毎年警女さんが回つてきて、各家々の軒先で唄を唄つたり、警女宿で語り物を聞かせてくれたものです。福祉の行き届いた今ではもう警女さんの姿は見られなくなつてしまいましたが、警女さんの残された業績を大切に語り継いで行くことも、温故知新、村おこしにつながることはないかと思ひます。

ひとり語り「最後の警女・小林ハル」  
出演 安藤 俊子

とき 平成十二年二月二十六日(土) 午後一時 開演  
ところ 木場集落多目的共同施設  
入場料 一人 千円  
主催 木場公民館・大字木場  
後援 木場老人クラブ連合・黒崎町老人クラブ連合会  
主管 安藤俊子ひとり語り実行委員会  
世話人 丸山和五郎(三七七―二三八二)  
同 竹石貞三郎(三七七―二七五四)

## 短歌

黒埼短歌会

伊弥彦の名人達の菊祭り作品の技術奥深く思ふ  
大谷 モト  
譲りこしシルバースーツ譲られて我は一瞬ためらいて着く  
丸山 幸  
霜月の朔日過ぎし若き友人空澄む野辺に白鳥渡る  
上山 恵子

「検査入院」のつもりに入院半月に身籠りし友の無念と哀し  
泉井 ヨ子  
ひだまりにかがやき舞い舞う羽虫らにあきつ衰え孤つが迷つ  
阿部 淨子  
逆く秋の風に舞い散る街路樹の落葉かそけく舗道にまらぶ  
金内 セツ  
唇にピアス三個もつけている若者に我は時代おくれか  
大矢 キイ  
並びたる壺ぶき屋根の大内宿に高遠そばの味を染しむ  
大湊 ミキ  
忽然と満酒な館現れぬ新装なれる介護センター  
阿部 テイ

## 俳句

黒埼俳句会

紅葉の山脈続く津川にて飯豊連峰の雪の輝き  
小出 美喜子  
水鳥は狩猟禁止区知ららんか区域の川に群れて動かず  
永田 キヨエ  
神無月朝日差す田に白鷺の餌を求め群なしてあり  
長谷川 トリ  
新しき家に移りて新しき朝を迎えぬ今日生かされんと  
柴垣 きみ

桔色の深まる狭庭枇杷の花  
悦女  
葱抜いて遠くより来る波の音  
けんじ  
葉牡丹の渦に初雪たまりをり  
多佳  
真ん中に亡夫の冬靴揃ひ置く  
智恵子  
あきらめに似たる安堵や雪の降る  
富代  
短日や櫻大樹はがらんどろ  
トシ子  
なつかしき人に会ひたる雁木かな  
敬郎  
小豆湯のふるまひありて成道会  
秀子  
吹かれぬ姿で乾び栗黄葉  
緋佐子  
粟馬に手のとどきさう海小春  
みどり  
菩提寺の勸金納め歳暮るる  
文雄

# 食

健康まつり  
好評メニュー

一食生活改善推進委員会

## かき和えなます



●エネルギー 111 kcal  
●カルシウム 62 mg  
●塩分 1.3 g  
●食物繊維 2.0 g

### 材料 (7人分)

きゃべつ	200g	酢	大さじ4
菊(かきのもと)	50g	さとう	大さじ2
しらたき	1/2玉	塩	小さじ1/2
干しいたけ	大3枚	きゅうり	1本
みりん	大さじ2	にんじん	1/3本
しょうゆ	大さじ1	ククルミ	1/3カップ
さとう	大さじ1	白ごま	10g
だし汁	大さじ3	さとう	大さじ3
(しいたけのもどし汁でもよい)		酢	大さじ2
玉ふ	少々	しょうゆ	大さじ2
れんこん	100g	塩	小さじ1/3
		ゆず	少々

### 作り方

- 1 たっぷりと湯を沸かし、塩と酢を入れて沸騰したら花びらをとった菊を入れ、2〜3分菊を返しながらゆで、水にさらす。
- 2 こんにゃくは湯がいて、3センチに切る。
- 3 干しいたけは戻して、石づきをとり、半分に切ってせん切りして、Aの調味料で煮る。
- 4 れんこんは皮をむき、酢水に浸してアクを抜きながら、いちよう切りにする。水をきり、Bの調味料で煮る。
- 5 きゅうりはせん切りにして、塩をふり、しんなりしたらしっかり絞っておく。
- 6 にんじんはせん切りにしてゆでる。
- 7 きゃべつはゆでてせん切りにし、しっかり絞っておく。
- 8 玉ふは水に戻してしっかり絞っておく。
- 9 くるみといったごまは油がでるまでよくすり、調味料を加えてさらによくする。①〜⑧までの材料を加えてあえる。器にこんもりと盛り、ゆずのせん切りを天盛りしていただく。

## 豚肉の大根巻き煮



●エネルギー 384 kcal  
●鉄 1.8 g  
●カルシウム 72 mg  
●塩分 1.4 g  
●食物繊維 4.0 g

### 材料 (4人分)

豚ばら薄切り肉	300g	しょうゆ	大さじ2
大根	1/2本	酒	大さじ2
にんじん	中1本	みりん	大さじ1
さやいんげん	20本	さとう	大さじ1
だし汁	1 1/2カップ	パセリ	少々

### 作り方

- 1 大根、にんじんは1センチ角の棒状(20本)に切る。
- 2 豚ばら薄切り肉に①とさやいんげんを巻く。
- 3 鍋にだし汁と②をいれて火にかける。
- 4 大根が透き通ってきたらAを加えて、弱めの中火で15〜20分煮る。
- 5 器に盛り、パセリをかざる。